



12月の園だより

令和6年12月2日
目黒区立不動保育園園長

林試の森公園では色とりどりの落ち葉や木の実が地面を彩り朝晩、風が冷たくなり冬の訪れを感じられますが、子どもたちは元気に戸外遊びを楽しみ自然に親しんでいます。今年度初めて職員も林試の森公園の自然物でリース作りに挑戦しました。子どもたちのように楽しい声が聞け、個性豊かなリースも出来上がりました。自然物で制作をする楽しさを改めて大人も感じられました。

今年度も「ふゆのこどもかい」はクラス入れ替え制で行います。先日 3.4.5 歳児クラスの子どもたちは、他のクラスの劇を見合い「どうだった」と保育士に聞かれると「おもしろかった」と感想を伝え、子どもたちはすぐに歌を覚え、劇中歌も一緒に口ずさんでいました。たくさんの刺激をお互いもらい、より頑張ろうとする姿も出てきています。初めて参加する3歳児クラスは、恥ずかしさや緊張から友達と自然に手をつなぎ励まし合いながら協力している姿がとても初々しく、4歳児クラスは、虫になりきって登場し大きな声で台詞を言う姿は頼もしく、5歳児クラスは自分の役を演じ進めています。合奏も年下の子どもたちからの憧れで「大太鼓やりたい」と声が上がり来年を楽しみにする様子がかがえます。どのクラスも子ども同士協力しながら進める姿に成長が感じられます。ご参加お待ちしております。



ふゆのこどもかい(3, 4, 5 歳児クラス)

★3, 4, 5 歳児クラス保護者参加の行事です。

乳児お楽しみ会

中旬

避難訓練(全園児)

身体計測(全園児)

※12/29(金)~1/3日(水)まで保育園はお休みです。

絵本とのふれあいの様子



0 歳児クラス 《スズラン組》

部屋の壁に貼ってある写真を指差して「あ?」と言いながら保育士の顔を見上げ名前を尋ねたり、絵本の気に入ったフレーズをまねて喃語まじりに話す姿が出てきました。中でも『だるまさんが』という絵本は繰り返し読むうちに言葉だけでなく、登場人物と同じように『ぎゅ』と抱きしめるポーズをしたり、『ぺこ』とお辞儀をして笑っています。

絵本や写真以外にも景色、音などから子どもたちが感じるものを保育士が共感し、一緒に楽しんでいきたいと思っています。

1 歳児クラス 《チューリップ組》

お部屋には動物シリーズの本がたくさんあります。その中でも子どもたちが最近好きな本は「はくしょん」です。ページをめくり主人公と一緒に「はくしょん」とくしゃみの真似をしたり、熱を測るシーンではブロックをもってきて自分たちも一緒に熱を測ってみたり、お薬をもらうシーンでは「ちょっと待って」と言ってみたりと、ままごとコーナーから色付きボトルを薬に見立てて持ってきて「ごっくん」と飲んでいました。口を開け喉を見せるシーンで一緒に何度も口を開ける練習をしているので、先日の歯科検診ではみんな上手に口を開け見てもらうことができました。身近な出来事を今後はごっこ遊びなどにも広げていきたいと思っています。

2 歳児クラス 《タンポポ組》

『おおきなかぶ』の絵本は子どもたちが大好きな絵本の一つです。『うんとこしょ。』の場面では掛け声をかけながら体を左右に揺らし、みんなで盛り上がっています。ある日、給食でかぶのメニューが出たときに保育士が子どもたちに「これ、おじいさんが採ったかぶかな。」と声を掛けると「うんとこしょってしてたよね。」と嬉しそうに話し、あっという間にかぶを食べてしまいました。「じゃあこっちの人参もおじいさんが植えたかもね。」と言うと、目を丸くしながら「甘い甘い人参になれって言ったかもね。」「大きな大きな人参になれって言ったね。」と言う子もいて、人参もあっという間に食べてしまいました。「がんもどきも植えたかなあ。」と言うと「カレーも植えたね」と子どもたち同士で笑いながら嬉しそうに食べていました。絵本の内容を思い出しながら保育士とやりとりをし、イメージを膨らませていきたいと思っています。

ふゆのこどもかい、制作の様子



3 歳児クラス 《コスモス組》

「くれよんのくろくん」という劇をします。絵本の中で、くれよんたちが白い画用紙に絵を描いていくシーンがあり、子どもたちと何の絵が描きたいか相談して決め、くれよんで色を塗って仕上げました。また、最後の花火の絵が浮かび上がる場面をどうするか考え、子どもたちと一緒に模造紙いっぱいに色々な色の画用紙をちぎって貼り絵にしました。「これくらいの大きさがいいかな?」と画用紙をちぎり、「次はこの色にする」と色を選んでいき、「白いところが見えないように貼らないとね」と友達と話しながら貼っていきました。できた貼り絵の上に花火の形に切り取った黒の画用紙を被せると、子どもたちは「絵本と一緒にだね」「色々な色があっけきれいだね」と自分たちで作った貼り絵が花火に変身したことに喜んでいました。これからも身近な素材を組み合わせながら、子どもたちと一緒に制作を楽しんでいきたいと思っています。

4 歳児クラス 《マーガレット組》

「むしたちのかくれんぼ」の劇で使う背景の虫たちが集まる原っぱの葉を子どもたちと一緒にクレヨンで描いていると、緑だけではなく水色で塗る子がいました。聞いてみると「雨あがりだから水がついているんだよ」と水滴を表現していることを教えてくれます。また子どもたちの様子を見てみると、赤や黄色で葉を塗り始めます。「秋だから、紅葉だよ」と言い、それを聞いていた子は「ふゆのこどもかいだから、きっと雪が降っていると思う。」と言って白色を上から塗り重ねる子もいました。それぞれの想いが1つの絵として完成し、カラフルな森に仕上がりました。絵が完成したかと思うと子どもたちは、ラキュー（小さいパーツブロック）で作った虫を持って来て実際に描いた絵の上に置き「かくれんぼ」と遊び始めました。先ほど塗った赤色の葉に赤いカブトムシを重ね「ここだったら見つからないね」と言い、色が重なって見えにくくなることも楽しんでいました。子どもたちの自由で面白い発想を大切にしながら、のびのび表現できる環境をこれからも大事にしていきたいと思っています。

5 歳児クラス 《ヒマワリ組》

今年は「そんごくう」の劇遊びをすることになりました。子どもたちが特に好きな場面は“戦いの場面”です。練習をしても「早く武器を作って劇をしたい」と話していたので、早速小道具作りをしました。絵本を見ながら「どんな形にする?」「ここの色は絵本だとこんな色だね」「私はこの色がいいな」等と自分のイメージと役のイメージを合わせながらデザインを考えています。デザインが決まると、それぞれの思い通りに切ってもらった段ボールに、折り紙を貼ります。作り終わった友達から「端っこまで糊をつけるときれいに貼れるよ」と教えてもらったり、手伝ってもらったりしながら作っていました。できあげると保育士が長い棒に付けるなど仕上げていくところを嬉しそうに見つめています。「これ早く使いたい」と小道具ができたことでよりイメージも膨らみ演じる姿に力が入っています。

